第３学年　７１回生　学年通信

大河

PART3

発行日　平成２９年６月２３日（金）　第　２９　号

総体がはじまります　～体調を整え、仲間とともに全力を尽くそう～

6月24日（土）、25日（日）の陸上競技部から市総体がスタートします。後の部活動は今週の木、金（6月29日、30日）を中心に行われます。神戸新聞の記事を紹介します。悔いの残らない試合になるよう、全力を尽くして下さい。

明石

団体の男子混戦　女子は魚住有力

剣道

（29、30日＝魚住中）

男子団体は混戦模様。春季大会優勝の大蔵、2位の朝霧、地力のある大久保、市新人戦優勝の衣川。女子団体は県新人戦優勝の魚住が最有力。その魚住に大久保、望海、二見の3校がどう勝負するか。男子個人戦は春季大会優勝の大島、2位齊木の衣川勢、野田（大蔵）、中村（朝霧）に各校大将クラスが勝負をかける。女子個人戦は下野（神代）、山口、中島の魚住勢に、堀口（大久保）、神内（同）、横山（魚住東）、田中（衣川）がどう戦うかに注目。

シングルスは男女とも激戦

卓球

（29、30日＝大久保北中）

本年度から1日目が団体戦となり、男子は市や東播新人大会優勝の二見が最有力で衣川、大久保、望海が挑む。女子は県新人大会に出場した朝霧、望海、二見の3強が有力視され、そこに野々池をはじめとした各校が挑む。2日目の男子シングルスは大西（二見）、藤川（同）、萩原（魚住）、上山（望海）、女子シングルスは津隈（魚住東）、栗本（魚住）、山本（朝霧）、岩佐（二見）を中心に、熾烈（しれつ）な戦いが予想される。男女ダブルスも見所だ。

野々池を軸に二見など追う

軟式野球

（29日～7月2日＝明石公園第1野球場）

シード校は、春季大会上位4校の野々池、二見、錦城、魚住。本大会昨年度の優勝校、野々池は投打のバランスがよく安定した強さを誇り、優勝候補の筆頭格であろう。春以降勢いのある二見、試合運びの巧みな錦城、攻撃力の高い魚住、シード校ではないが、投手力の高い望海などが追う展開か。本年度は東播総体の出場枠が上位4校に広がり、東播総体での明石勢の活躍も大いに期待できる。

女子は大混戦に熱いプレー期待

バレー

（29、30日＝明石中央体育館）

男子は県新人優勝、春の近畿大会出場の大久保北が筆頭。総体4連覇を目指す二見、春季市内大会2位の大蔵がどこまで迫れるか。残る望海、大久保、錦城も上位進出をうかがう。東播大会出場3枠を懸け、レベルの高い熱戦が期待される。

女子は新人大会以降、大会ごとに上位が入れ替わる大混戦。春季市内大会優勝の高丘、2位の二見に加え、江井島、望海など実力が拮抗（きっこう）。東播大会出場の2枠を巡り、見応えある熱いプレーが繰り広げられる。

中学総体12競技展望（下）

女子望海筆頭　男子は混戦か

ハンドボール

（29、30日＝魚住東中、大蔵中）

女子は、昨年度に引き続き、望海が優勝候補。スタメンの半分以上が2年生という若いチームだが、一丸全員ハンドしみである。

男子はリレーに強い二見リード

水泳

（7月2日＝二見中）

男子は自由形では中距離で、長島（野々池）が有力。平泳ぎと個人メドレーでは、重塚（大久保）に好記録が期待される。平泳ぎでは、江副（二見）、個人メドレーでは立花（同）がこれに続く。また、背泳ぎでは須田（江井島）、横川（大久保）、山本（同）が争う。女子はバタフライで山下（魚住）と石田（二見）が対決する。背泳ぎでは藤岡（望海）がリード。平泳ぎで都地（望海）、寺田（魚住）、筒井（魚住）の接戦が予想される。学校対抗では、男子は、リレー種目に強い二見がリードする。それを大久保と魚住が追う。女子は、新人戦を制した魚住に、大久保と望海が迫れるか。今年も上級大会を目指して、白熱したレースが繰り広げられる。

で戦う。その望海を昨年度、U16候補の大型GK榜野を擁する魚住東が追う。男子は、大久保と魚住を他校が追う展開。大久保は主将松崎を中心に守備からの速攻が持ち味。一方、魚住は森を攻守の要に優勝を狙う。男子は実力が拮抗（きっこう）しており、大久保、魚住以外の優勝の可能性も十分にある。

明石

中学総体12競技展望（上）

第57回明石市中学校総合体育大会（市中学校体育連盟、市教育委員会主催）は24日の陸上競技で開幕し、7月2日までに市内各地で計1競技が繰り広げられる。各競技の担当者による展望を2回に分けて紹介する。

新人大会優勝の野々池が最有力

陸上

（24、25日＝明石公園陸上競技場）

男子短距離は山本（衣川）が最有力。400メートルは神戸（江井島）、西尾（野々池）が雌雄を決する。中・長距離は栄下（魚住）、岩崎（朝霧）、國安（大久保）を中心に激戦。4種競技はハードルとの争いに川畑（野々池）が挑む。走高跳は平崎（魚住）、走幅跳は相良（衣川）、三段跳は田村（魚住）、投擲（とうてき）は楓（立花）の大蔵勢と橋本（野々池）の争い。女子短距離は松浦（出米）の野々池勢が強い。長距離は大西（魚住東）、正垣（大蔵）を中心に混戦。ハードルは松浦（野々池）、池田（二見）、藤本（大久保北）が三巴の争い。走高跳は横山（二見）、松本（大久保北）、走幅跳は和田（二見）、古家（大久保北）を中心に混戦。投擲は堤、石野、荻野の一見勢が上位を独占か。4種競技は菅（魚住）、横山（二見）が有力ライバルは男子は衣川、女子は野々池が他を圧倒。学校対抗は昨年度、市新人大会で優勝した野々池が男女総合の最有力。男子は野々池と衣川、女子は一見と野々池の争いになりそう。

男子団体戦は高丘がリード

ソフトテニス

（29、30日＝海浜公園、明石公園）

男子の個人戦は秋、春と連覇した東條・岩城と、準優勝の矢野・阪田（高丘）を中心に各校の大将ペアが上位を狙う。団体戦は高丘が抜きんでており、大久保、衣川など各校の戦いに注目したい。

女子の個人戦は激戦模様。団体戦は春季優勝の松田・竹谷、3位の増田・堀川の2ペアを有する高丘中が優勢だが、団体4連覇中の大久保北や魚住東、望海も虎視眈々（たんたん）と東播出場の3枠を狙う。

団体は男女とも望海と二見有力

柔道

（29、30日＝二見中）

男子団体は経験豊富な望海と体格に勝る二見が優勝候補。女子団体も望海と二見の優勝争いが予想される。個人戦は、昨夏の総体や新人戦で県・近畿大会上位進出した選手が多数出場。中でも男子は55キロ級小林（望海）、60キロ級金田（二見）、66キロ級御影（望海）らが有望。女子は48キロ級佐々木（魚住）、57キロ級福田（望海）、63キロ級田中（二見）らに注目が集まる。本年度から適用された新ルールでも繰り広げられる熱戦が楽しみである。

二見を軸にして他の3校は混戦

ソフトボール

（29、30日＝野々池中学校）

和歌と春季のバッテリーがとれている二見が優勝筆頭の候補。残りの3校は混戦。新人総体2位の魚住は、柏原を中心に3年生の打撃に破壊力がある。4月の市内大会2位の野々池は一宮、神尾を中心に総合力が高く、船田、日置の2年生バッテリーを要に巻き返しを狙う江井島も見逃せない。投手の出来と守備の乱れが勝敗を左右することが予想され、東播大会出場枠をかけて一投一打に手に汗握る展開になりそうだ。

優勝候補には野々池と魚住

サッカー

（29、30日＝海浜公園運動場）

東播大会への三つの出場枠をかけて、今年も熱い戦いが開幕する。優勝候補は春季大会を制した野々池、そして連覇の魚住。それに追随するのが新人戦では県大会までコマを進めた大久保。攻撃力に優れる望海、堅守速攻の朝霧、市内リーグ3位の江井島、高丘、大蔵、二見も個人のスキルが高く、衣川、大久保北、魚住東も総体に向けて調子を上げてきた。3年生には中学校生活最後の夏。負けられない戦いが今始まる。

女子は市内大会覇者の朝霧有力

バスケット

（29、30日＝衣川中、大久保中）

男子は4月の市内大会を制した望海、県新人大会ベスト4の江井島と魚住が優勝候補の筆頭。それを東播新人大会ベスト4の二見と魚住東、シード校の大蔵がどこまで迫れるかに注目が集まる。東播総体出場枠は4校。他のチームもシード校撃破を虎視眈々（たんたん）と狙っている。